

平成24年度
川口市教育委員会事務点検・外部評価報告書
(平成23年度実施事業)

川口市教育委員会

も く じ

■ はじめに 1 ～ 2

1 趣 旨	—————	1
2 目 的	—————	1
3 外部評価の対象	—————	1
4 外部評価の方法と順序	—————	1
5 外部評価結果	—————	2
6 今後の取り組み	—————	2
7 平成24年度外部評価委員	—————	2

■ 平成24年度施策評価一覧 3

■ 施策評価調書 4 ～ 35

No. 1	幼児教育の充実	——	5
No. 2	義務教育の充実	——	7
No. 3	高等学校教育の充実	——	11
No. 4	学校の教育力の向上	——	13
No. 5	学校教育施設の耐震化の推進	——	15
No. 6	社会教育施設の整備・充実	——	17
No. 7	生涯学習事業の充実	——	21
No. 8	生涯学習活動の支援	——	23
No. 9	スポーツ・レクリエーション活動の支援	——	25
No. 10	スポーツ施設の整備・充実	——	27
No. 11	文化芸術活動の支援	——	29
No. 12	文化施設の整備・充実	——	31
No. 13	文化財の保護と活用	——	33
No. 14	歴史的文書の保存と活用	——	35

はじめに

1 趣 旨

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成20年4月から、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

併せて、点検及び評価を行うに当たり、教育に関する学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

この報告書は、同法の規定に基づき、川口市教育委員会が行った事務点検・外部評価（以下「外部評価」という。）の結果をまとめたものです。

2 目 的

川口市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を自ら点検評価し、効果的な教育行政の推進に資すること並びにその結果を公表し市民への説明責任を果たしていくことを目的としています。

3 外部評価の対象

川口市では、市政運営の指針となる「第4次川口市総合計画」を平成22年度に策定し、行政分野別計画の第2章「教育・文化」に教育行政が取り組むべき14の施策を掲げています。この施策は、平成24年度の教育行政重点施策とも重なっていることから、この14施策を外部評価の対象としました。

4 外部評価の方法と順序

「第4次川口市総合計画」に基づいた行政評価制度により内部による（自己）評価を行い、施策評価調書を作成しました。

この施策評価調書の各施策について教育に関し学識経験を有する外部の方々から、評価をいただくと共に、ご意見、ご助言をいただきました。

5 外部評価結果

全14施策の外部評価結果は、「達成されている」との評価が9施策、「概ね達成されている」との評価が5施策で、うち2施策において内部評価より低い評価となりました。

委員からは、全体を通して施策目標を表す指標の設定が施策目的と乖離しているものが多く見受けられたとのご意見がありました。また、教育には数値化が適さない施策も多いことから、事業や取り組みによっては、指標の目標や実績を数値でなく文章で表現するなど、評価の在り方や調書の表現について、今後、検討するべきとのご助言をいただきました。

また、施策目的と施策を構成する実施計画事業の内容に齟齬がある部分が見受けられ、実施計画事業数が過小な施策もあるなどのご指摘をいただき、今後は、施策目標の具体化に沿った実施計画事業の見直しを行い、分かりやすい調書の作成を検討するべきとのご助言をいただきました。

6 今後の取り組み

今回の外部評価でいただいた意見、助言をもとに、まず、自己の施策について教育委員会として再検証を行います。次に今後の事業へフィードバックし、より効果的な本市ならではの教育行政を推進していきます。

また、指標や目標値の設定についても見直しを図り、より分かりやすく適確に、市民への説明責任を果たしていきたいと考えています。

7 平成24年度外部評価委員

(50音順 敬称略)

氏名	備考
白石和夫	文教大学教育学部教授
濱田義彦	前川口市PTA連合会副会長
南勇	川口市退職校長会幹事長

平成24年度施策評価一覧

章	政策	施策 No.	コード	施策名	主管課	総合評価（内部における評価）				外部評価					
						（達成 A） されている	（概ね B） 達成されている	（達成 C） 状況は低い	（ほとんど D） 達成されていない	（達成 A） されている	（概ね B） 達成されている	（達成 C） 状況は低い	（ほとんど D） 達成されていない		
第2章 教育・文化															
第1節 知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざす学校教育の推進															
		No.1	211	幼児教育の充実	教育総務課	○				○					
		No.2	212	義務教育の充実	指導課		○				○				
		No.3	213	高等学校教育の充実	学務課	○					○				
		No.4	214	学校の教育力の向上	指導課	○				○					
		No.5	215	学校教育施設の耐震化の推進	教育総務課	○				○					
第3節 生涯学習の推進															
		No.6	231	社会教育施設の整備・充実	生涯学習課	○				○					
		No.7	232	生涯学習事業の充実	生涯学習課	○				○					
		No.8	233	生涯学習活動の支援	生涯学習課	○					○				
第4節 スポーツ・レクリエーション活動の推進															
		No.9	241	スポーツ・レクリエーション活動の支援	スポーツ課	○				○					
		No.10	242	スポーツ施設の整備・充実	スポーツ課	○				○					
第5節 文化芸術の振興															
		No.11	251	文化芸術活動の支援	文化推進室		○				○				
		No.12	252	文化施設の整備・充実	文化推進室		○				○				
第6節 文化財の保護・活用															
		No.13	261	文化財の保護と活用	文化財課	○				○					
		No.14	262	歴史的文書の保存と活用	文化財課	○				○					
計						11	3	0	0	9	5	0	0		

施策評価調書

施策No.1

施策評価調書(1)

評価対象年度 23年度事業

施策コード	211	施策名称	2章1節 幼児教育の充実		
主担当	生涯学習部	教育総務課	電話番号	2451	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

幼児が、生活や遊びの中で様々な体験を通して、情緒的・知的な発達と共に社会性を養い、生きるための基礎を育む。学校教育の始まりである幼稚園で、基本的な生活習慣を身に付け、学習意欲を養い、小学校生活がスムーズにスタート出来るよう教育環境の整備をする。

指標①	名称	私立幼稚園定員充足率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	園児数/定員数×100 過去の実績から算出							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	91.0	91.0	92.0	92.0	93.0			
	実績値・達成状況	91.3 達成	91.5 達成						

指標②	名称	就園率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	園児数/3、4、5歳児人口×100 過去の実績から算出							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	66.0	66.0	67.0	67.0	68.0			
	実績値・達成状況	66.5 達成	66.6 達成						

指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算見込額	24年度予算額	25年度計画額
	事業費	683,586	809,102	884,744	948,583
	概算人件費	17,055	14,801	20,893	21,706
	総事業費	700,641	823,903	905,637	970,289

事業費及び概算人件費の変動要因 鳩ヶ谷との合併により園児数が増加したこと、また補助金の1人あたりの単価が増額されたことにより、事業費が増額となった。

取り組みの内容	取り組みの成果
市立幼稚園の教育力向上に努めるとともに、市内認可私立幼稚園の自主性を尊重した教育力の向上と教育環境の充実のため、補助金交付などの支援を行った。私立幼稚園の施設改善には、資金借入利子を助成し、安全・安心な教育環境の提供に取り組んだ。	保護者の経済的な負担軽減、幼稚園の教育内容の充実及び教員の資質向上、園児の健康増進、安全安心な施設の設置が行われ、幼児教育の充実に寄与した。

残されている課題

認可私立幼稚園は、独自の理念に基づく教育を担い、市立幼稚園は、幼児教育の研究推進の先導的な役割を担っている。しかし、川口市の幼児教育を担っている両者の連携はまだ乏しいのが現状である。私立幼稚園と市立幼稚園のそれぞれが長所を生かしながら、更なる幼児教育の推進を図るため、相互の連携への仕組みづくりが必要である。

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	A	幼児教育を促進するため、保護者負担軽減及び本市の幼稚園児の9割以上が通園する私立幼稚園への支援は、必要不可欠であることから安定的な予算確保に努める。併せて、効果的・効率的な補助制度の運営を行っていく。
	(前回評価結果)	
A		

外部評価	評価結果	コメント
	A	
	(前回評価結果)	
	A	

私立幼稚園に対する事業費と比較して、市立幼稚園に対する事業費が少ないように見える。施策を構成する9事業のうち8事業が補助金及び助成事業であり、施策を構成する事務事業が不足しているため、真の意味で幼児教育の充実に繋がるような事業をもっと記載することを検討し、市の幼稚園教育全体の充実に推進して欲しい。

施策No.2

施策評価調書(1)

評価対象年度 23年度事業

施策コード	212	施策名称	2章1節 義務教育の充実		
主担当	学校教育部	指導課	電話番号	2498	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

子どもたち一人一人に「生きる力」を育むため、教育内容の充実、健康教育と学校給食の充実、教育環境の整備・施設整備の充実、特別支援教育の充実、家庭・地域との連携に取り組み、子どもたち一人一人に「生きる力」を育む義務教育の充実を図る。

指標①	名称	学力達成目標効果検証結果(小学校)				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	「読む・書く」と「計算」の正答児童数(第6学年) 埼玉県「教育に関する3つの達成目標」に係る目標値							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0			
	実績値・達成状況	94.2	未達成	96.6	達成				
指標②	名称	学力達成目標効果検証結果(中学校)				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	「読む・書く」と「計算」の正答児童数(第3学年) 埼玉県「教育に関する3つの達成目標」に係る目標値							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0			
	実績値・達成状況	92.4	未達成	95.0	達成				
指標③	名称	小中学校体力テスト調査結果				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	全国平均を上回っている項目数÷全項目数×100(小中学校)							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0			
	実績値・達成状況	54.2	達成	52.8	達成				

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算見込額	24年度予算額	25年度計画額
	事業費	1,089,510	3,023,151	4,645,067	6,362,641
	概算人件費	129,120	207,970	200,670	232,300
	総事業費	1,218,630	3,231,121	4,845,737	6,594,941
事業費及び概算人件費の変動要因	各事業について事業費の見直しを行ったことや、実施コストの変動による。				

取り組みの内容	取り組みの成果
子どもたちに生きる力を育むために、学力向上推進委員会、徳力向上推進委員会、体力向上推進委員会を通して学校への支援事業を進めた。また、特別支援教育や健康教育・学校給食の充実等に取り組んできた。	小中学校ともに学力達成目標の検証結果が向上し、近年、体力向上や健康教育等において全国表彰を受ける学校が出た。また、特別支援学級の新設や学校給食の改革など一定の成果をあげることができた。

残されている課題

学力向上については、平成23年度に目標値に達したが、これを安定的な成果とするためには更なる取り組みが必要である。また、体力テストでは目標値を上回りましたが、投力などに課題が残る。このほか、新学習指導要領全面実施に対応した教育環境の整備等への計画的対応等が必要である。

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	B	「生きる力」を育むために、児童生徒の実態を把握し、課題を明らかにして、指導方法の工夫改善を促して教育内容の充実にも努めるとともに、健康教育や特別支援教育の一層の推進を図ることが求められている。
	(前回評価結果)	
B		

外部評価	評価結果	コメント
	B	
	(前回評価結果)	
	B	

指標について、国語と算数・数学の学力や小学生と中学生の体力を一緒にすることは適切ではないので、表記の仕方に工夫の必要がある。また、施策を構成する事業に管理運営費が挙げられていないが、外部評価の対象としても良いのではないかと。掲載事業の精査について、もう少し検討を重ねて欲しい。

施策評価調書(2)

評価対象年度 23年度事業

施策コード	212	施策名称	2章1節 義務教育の充実
-------	-----	------	--------------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	23年度	24年度	費用対効果 /対前年度 比	24年度の取 り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費		
2120011	元郷南小学校仮設教室設置事業	教育総務課	12,390	0	設定無し	完了
			430	0		
2120041	放課後子どもプラン事業	生涯学習課	10,908	17,546	前年度より改善	拡充して実施
			6,880	6,640		
2120056	川口市PTA連合会補助金	生涯学習課	900	1,025	設定無し	現状維持で実施
			0	0		
2120061	小学校・中学校教科書改訂(4年に1回)に伴う事業	学務課	60,700	53,467	設定無し	現状維持で実施
			430	415		
2120071	専任講師配置事業	学務課	5,000	10,000	設定無し	拡充して実施
			860	830		
2120082	大貫海浜学園事業	学務課	73,642	78,783	設定無し	効率化して実施
			10,700	10,400		
2120092	水上少年自然の家事業	学務課	150,852	161,640	設定無し	効率化して実施
			25,800	24,900		
2120102	教育パブリシティプラン事業	学務課	1,328	1,311	設定無し	効率化して実施
			1,720	1,660		
2120112	新しい学校のシステムづくりプラン事業	学務課	38,743	28,142	設定無し	縮小して実施
			8,600	8,300		
2120126	各種競技会全国・関東大会等派遣補助金	学務課	1,985	3,820	設定無し	現状維持で実施
			430	415		
2120136	学校等災害見舞金	学務課	70	190	設定無し	現状維持で実施
			0	0		
2120146	鼓笛隊活動助成金	学務課	1,320	1,320	設定無し	現状維持で実施
			430	415		
2120156	必修外クラブ活動助成金	学務課	8,895	9,542	設定無し	現状維持で実施
			430	415		
2120166	プラスバンド活動助成金	学務課	7,200	7,700	設定無し	現状維持で実施
			430	415		
2120176	記念事業費助成金	学務課	1,200	1,300	設定無し	現状維持で実施
			0	0		
2120181	特別支援教育支援員配置事業	指導課	48,282	57,060	前年度と同程度	拡充して実施
			2,580	2,490		
2120191	中学校理科教育振興費備品購入事業	指導課	4,099	4,856	設定無し	現状維持で実施
			2,580	2,490		
2120202	コンピュータ教育環境整備事業	指導課	315,044	322,834	設定無し	現状維持で実施
			4,300	4,150		
2120212	快適環境づくり運動事業	指導課	799	810	設定無し	現状維持で実施
			860	830		
2120222	学校教育研究支援事業	指導課	977	1,013	設定無し	現状維持で実施
			860	830		
2120232	教育研修生事業	指導課	31	58	設定無し	現状維持で実施
			2,580	2,490		
2120242	教育講演会事業	指導課	276	292	設定無し	現状維持で実施
			0	0		
2120252	国際理解教育促進事業	指導課	65,921	77,220	設定無し	現状維持で実施
			4,300	4,150		
2120262	川口こども造形展事業	指導課	416	451	設定無し	現状維持で実施
			2,580	2,490		
2120272	小学校学習支援事業	指導課	3,250	2,670	設定無し	現状維持で実施
			860	830		

施策評価調書(2)

評価対象年度 23年度事業

施策コード	212	施策名称	2章1節 義務教育の充実
-------	-----	------	--------------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	23年度 事業費		24年度 事業費		費用対効果 /対前年度 比	24年度の取 り組み
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
2120282	中卒就職者壮行会事業	指導課	93	174	860	860	設定無し	現状維持で実施
2120292	中学校学習支援事業	指導課	592	850	860	830	設定無し	現状維持で実施
2120302	中学生英語弁論大会事業	指導課	58	229	4,300	4,150	設定無し	拡充して実施
2120312	発明創意工夫展事業	指導課	21	40	2,580	2,490	設定無し	拡充して実施
2120322	要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	指導課	204,347	245,069	14,190	13,695	設定無し	現状維持で実施
2120332	学力向上支援事業	指導課	103	126	2,580	2,490	設定無し	現状維持で実施
2120342	小学校障害児送迎事業	指導課	14,761	22,050	2,580	2,490	設定無し	現状維持で実施
2120352	障害児学級合同作品展事業	指導課	324	344	2,580	2,490	設定無し	現状維持で実施
2120362	特別支援学級児童生徒就学奨励事業	指導課	6,238	7,188	860	830	設定無し	現状維持で実施
2120372	障害児就学支援事業	指導課	546	723	2,580	2,490	設定無し	現状維持で実施
2120382	きらり川口夢わーく社会体験事業	指導課	597	811	860	830	設定無し	現状維持で実施
2120416	音楽鑑賞教室補助金	指導課	3,800	5,700	0	0	設定無し	現状維持で実施
2120426	各教科等授業研究会助成金	指導課	450	450	0	0	設定無し	現状維持で実施
2120436	川口市教育研究会助成金	指導課	177	177	0	0	設定無し	現状維持で実施
2120446	職業教室開催補助金	指導課	198	166	860	830	設定無し	現状維持で実施
2120456	川口市学校体育協会助成金	指導課	30	30	0	0	設定無し	現状維持で実施
2120461	自動体外式除細動器管理事業	学校保健課	2,934	4,007	860	830	前年度より改善	現状維持で実施
2120471	学校給食食器改善事業	学校保健課	74,660	58,956	1,720	1,660	設定無し	現状維持で実施
2120482	学校保健普及啓発事業	学校保健課	1,786	1,966	1,720	1,720	前年度と同程度	現状維持で実施
2120492	学校給食指導研修事業	学校保健課	170	246	1,720	1,660	設定無し	現状維持で実施
2120503	新学校給食センター建設事業	学校保健課	103,770	1,326,492	4,300	4,150	設定無し	拡充して実施
2120516	心臓検診補助金	学校保健課	693	900	860	860	前年度と同程度	現状維持で実施
2120526	川口市学校保健会補助金	学校保健課	1,275	1,400	860	860	前年度より改善	現状維持で実施
2120563	(仮称)教育センター建設事業 *	指導課	0	0	0	0	設定無し	休止
2120572	学校給食発注事業	学校保健課	1,786,300	2,118,050	47,200	45,700	設定無し	拡充して実施

注)事業名の末尾に* マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策No.3

施策評価調書(1)

評価対象年度 23年度事業

施策コード	213	施策名称	2章1節 高等学校教育の充実		
主担当	学校教育部	学務課	電話番号	2482	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

地域発展の一翼を担い、地域の文化を支える人材を育成する教育活動を推進する。

指標①	名称	就職内定率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	就職内定者÷就職希望者×100 過去の就職内定率の推移から95%を目標に就職支援を行っている。							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0			
	実績値・達成状況	93.2	未達成	100.0	達成				
指標②	名称	奨学貸付事業				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	修学金貸付人数+入学一時金貸付人数 申込人数							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	526.0	587.0						
	実績値・達成状況	526.0	達成	587.0	達成				
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算見込額	24年度予算額	25年度計画額
	事業費	215,791	224,306	251,050	251,050
	概算人件費	7,395	8,170	7,885	7,885
	総事業費	223,186	232,476	258,935	258,935
事業費及び概算人件費の変動要因					

取り組みの内容	取り組みの成果
市立高校3校に各1名の就職カウンセラーを配置し就職支援を行い、また、経済的な理由により就学が困難な生徒に対して奨学事業を実施している。	生徒一人一人の進路希望の支援及び経済的支援が図られている。
残されている課題	
これまでの取り組みや支援状況を踏まえ、可能な限り各事業を充実される必要がある。	

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	A	財政状況を勘案しながら可能な限り各事業の充実を図っていきたい。
	(前回評価結果)	
B		

外部評価	評価結果	コメント
	B	
	(前回評価結果)	
	B	

「就職内定率」や「奨学貸付事業」といった指標ではなく、「進学率」や「募集に対する倍率」等の方が指標として分かりやすいのではないかと。また、他の施策と比較しても事業内容が少ないので、今後「高等学校教育の充実」についての事業のあり方を検討して欲しい。

施策No.4

施策評価調書(1)

評価対象年度 23年度事業

施策コード	214	施策名称	2章1節 学校の教育力の向上		
主担当	学校教育部	指導課	電話番号	2498	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

生きる力を育むためには、学校の教育力の向上を図ることが大切である。そこで、海外派遣や市内施設を活用した特色ある教育活動の充実を図る。また、教職員の資質・指導力の向上を図るための職員研修の充実を図るとともに児童生徒の不登校やいじめに対応するため教育相談の充実を図る。

指標①	名称	不登校出現率(小学校)				単位	%	指標の種類	成果
	指標の説明・算定式	全児童数に対する年間30日以上欠席者の割合 県平均・全国平均出現率							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	0.32	0.31	0.31	0.30	0.30			
	実績値・達成状況	0.32	達成	0.30	達成				
指標②	名称	不登校出現率(中学校)				単位	%	指標の種類	成果
	指標の説明・算定式	全生徒数に対する年間30日以上欠席者の割合 県平均・全国平均出現率							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	3.80	3.60	3.40	3.30	3.20			
	実績値・達成状況	3.73	達成	3.59	達成				
指標③	名称	教員研修満足度				単位	%	指標の種類	成果
	指標の説明・算定式	教職員研修における満足度調査においてアンケート調査を実施し、「概ねよい」以上の評価を得た割合(H23年度より実施)							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	—	95.00	95.00	95.00	95.00			
	実績値・達成状況	—	—	98.6	達成				

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算見込額	24年度予算額	25年度計画額
	事業費	145,274	157,625	169,022	183,238
	概算人件費	70,120	67,080	64,890	67,230
	総事業費	215,394	224,705	233,912	250,468
事業費及び概算人件費の変動要因	各事業について費用の見直しを行っているほか、事業実施コスト等の変動による。				

取り組みの内容	取り組みの成果
特色ある教育活動の充実をめざして、海外派遣事業、ジュニア議会、校外学習など児童・生徒に魅力ある事業を提供している。また、学校経営、教科指導、生徒指導など様々な分野の研修や教育相談の充実を目指す。	特色ある教育活動の推進や教員研修の充実が、教育力の向上に寄与しているものと考え。また、教育相談の充実によって不登校児童生徒数の減少がみられた。
残されている課題	
教員の資質向上は、学校の教育力の向上につながるため、今後も、継続した研修プログラムの充実・改善が必要である。また、いじめ、不登校、非行などの現代的課題を解決するため、引き続き教育相談等の環境整備や問題研究が必須である。さらに、本市独自の特色ある教育活動を進めるためには施設の改善・活用が必要となる。	

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	A	各学校における課題を明らかにし、指導方法や教材の工夫改善を研究し、学校の特色に応じた教育力の向上に取り組む。
	(前回評価結果)	
A		

外部評価	評価結果	コメント 教育相談事業に多額の事業費を投入しているにもかかわらず、川口市の不登校出現率は国や県と比較しても高いのではないかと。不登校出現率が改善傾向にあることは理解しているが、更に効率的に相談事業を行ってほしい。教員研修については、実践にも役立つような内容を色々工夫しているのが見受けられるので、今後も継続して行ってほしい。
	A	
	(前回評価結果)	
	A	

施策評価調書(2)

評価対象年度 23年度事業

施策コード	214	施策名称	2章1節 学校の教育力の向上
-------	-----	------	----------------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	23年度	24年度	費用対効果 /対前年度 比	24年度の取 り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費		
2140012	通学区自由化プラン事業	学務課	2,784	3,759	設定無し	現状維持で実施
			13,760	13,280		
2140026	学校サポートプラン交付金	学務課	7,820	8,930	設定無し	拡充して実施
			5,160	4,980		
2140035	中学生海外派遣補助事業	指導課	6,405	6,716	設定無し	現状維持で実施
			4,300	4,150		
2140045	高校生海外派遣補助事業	指導課	8,380	8,380	設定無し	現状維持で実施
			4,300	4,300		
2140052	ジュニア議会事業	指導課	149	173	設定無し	現状維持で実施
			860	830		
2140062	校外学習事業	指導課	24,778	33,084	設定無し	現状維持で実施
			4,300	4,150		
2140072	学校ファーム推進事業	指導課	758	900	前年度より改善	現状維持で実施
			860	830		
2140082	その他教育研修事業	指導課	432	466	前年度と同程度	現状維持で実施
			4,300	4,150		
2140092	課題研究事業	指導課	14	25	設定無し	現状維持で実施
			860	830		
2140102	学校経営研修事業	指導課	267	241	設定無し	現状維持で実施
			860	830		
2140112	情報基礎教員研修事業	指導課	131	136	設定無し	現状維持で実施
			4,300	4,150		
2140132	教育相談支援員活用事業	指導課	40,359	46,980	前年度より改善	現状維持で実施
			4,300	4,150		
2140142	教育カウンセラー活用事業	指導課	17,512	18,116	設定無し	現状維持で実施
			4,300	4,150		
2140152	教育相談員活用事業	指導課	36,346	34,616	設定無し	現状維持で実施
			8,600	8,300		
2140162	不登校児童生徒適応支援事業	指導課	1,168	1,345	設定無し	現状維持で実施
			2,580	2,490		
2140172	日本語補充教室事業	指導課	153	439	設定無し	拡充して実施
			860	830		
2140182	訪問相談員活用事業	指導課	7,469	1,010	前年度と同程度	現状維持で実施
			860	830		
2140196	文化交流使節団派遣事業交付金	指導課	1,350	1,350	設定無し	現状維持で実施
			0	0		
2140206	非行防止対策協議会補助金	指導課	60	60	設定無し	現状維持で実施
			0	0		
2140212	学校応援団推進事業	指導課	1,290	2,296	設定無し	拡充して実施
			1,720	1,660		

施策No.5

施策評価調書(1)

評価対象年度 23年度事業

施策コード	215	施策名称	2章1節 学校教育施設の耐震化の推進		
主担当	生涯学習部	教育総務課	電話番号	2454	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

学校教育施設は、地震発生時において児童生徒の安全の確保をすることはもとより、地域住民の一時的な避難場所ともなることから、平成7年6月16日に制定された地震防災対策特別措置法に基づき、耐震化の推進を図るもの。

指標①	名称	小・中学校耐震化整備事業				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	耐震化棟数÷学校施設総数×100 小・中学校耐震化整備計画事業							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(28年度)			
	目標値	70.3	80.4	92.9	96.6	100.0			
	実績値・達成状況	70.3 達成	82.0 達成						
指標②	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算見込額	24年度予算額	25年度計画額
	事業費	4,525,137	1,740,539	3,613,625	1,857,664
	概算人件費	14,355	9,030	15,770	15,770
	総事業費	4,539,492	1,749,569	3,629,395	1,873,434
事業費及び概算人件費の変動要因	小中学校耐震補強計画及び教育施設整備計画に基づき実施				

取り組みの内容	取り組みの成果
小・中学校耐震化整備計画に基づき、20校21棟の耐震補強工事を実施。青木中央小学校の改築はI期工事を実施。十二月田中学校・仲町中学校改築は実施設計を実施し、24年度から改築工事を実施する予定。	20校21棟の耐震補強工事の実施、鳩ヶ谷市との合併により耐震化率は目標値80.4%を上回る82.0%を達成。青木中央小学校はI期工事を実施。
残されている課題	
学校施設の耐震化は一時的に多大な財政支出を要するため、財政状況を勘案しながら、地震防災特別措置法による平成27年度までの補助の特例を効果的に活用し、耐震化を進める必要がある。	

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	A	財政状況を勘案したうえで、計画に基づき耐震化を進めるよう努める。
	(前回評価結果)	
A		

外部評価	評価結果	コメント
	A	
	(前回評価結果)	
	A	学校教育施設の耐震化については、改築は平成28年度、補強は更に3年短縮し平成25年度に終了予定となっていて、非常に力を入れて取り組んでいるのが窺える。今後も児童生徒の安全を確保しながら、工事を進めて頂きたい。

施策No.6

施策評価調書(1)

評価対象年度 23年度事業

施策コード	231	施策名称	2章3節 社会教育施設の整備・充実		
主担当	生涯学習部	生涯学習課	電話番号	2461	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

市民が地域社会で生涯にわたり、学び続け、生きがいをづくり、自己実現を可能にすること。

指標①	名称	公民館・専門施設の講座参加者数				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	公民館・専門施設の講座参加者数を合計したもの 第4次川口総合計画の目標指標							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	280000.0	280000.0	280000.0	280000.0	280000.0			
	実績値・達成状況	264057.0	未達成	256629.0	未達成				
指標②	名称	図書館資料貸出数				単位	点	指標の種別	活動
	指標の説明・算定式	図書館資料貸出数の合計 第4次川口市総合計画の目標指標より算出したもの							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	3263946.0	3400000.0	3400000.0	3500000.0	3600000.0			
	実績値・達成状況	3232239.0	—	3368062.0	—				
指標③	名称	科学館施設利用者数				単位	人	指標の種別	活動
	指標の説明・算定式	科学館内の各事業参加者数を合計したもの 過去3年の実績を参考に設定							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	140000.0	140000.0	140000.0	140000.0	140000.0			
	実績値・達成状況	127694.0	未達成	142198.0	達成				

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算見込額	24年度予算額	25年度計画額
	事業費	1,320,634	572,731	645,152	635,786
	概算人件費	157,396	146,564	146,044	144,039
	総事業費	1,478,030	719,295	791,196	779,825
事業費及び概算人件費の変動要因	事業費が縮小したため。				

取り組みの内容	取り組みの成果
公民館は地域に密着した社会教育施設として整備し、地域住民の学習支援と自主的に活動している社会教育関係団体等の育成・支援をしてきた。図書館、科学館は市全域を対象とした学習施設として誰もが気軽に利用できる施設として機能充実を図った。	公民館は、東日本大震災に伴う利用制限にもかかわらず、同程度の講座参加者数を確保できた。図書館は、利用者数に東日本大震災の影響がみられるものの、順調に推移した。科学館は、時節にあった事業や学校連携の推進の結果、利用者数が拡大した。
残されている課題	
公民館等の施設は、利用者数が横ばい状態となっており、利用者が固定化する傾向にある。また、老朽化している施設・機器については、計画的に補修等を進める。	

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	A	市民の生涯学習を推進するため、多様な学習機会の提供と社会教育施設の設備、機能の充実を図る。
	(前回評価結果)	
A		

外部評価	評価結果	事業費と比較して人件費が高いため、ボランティアや市民活動団体を活用する等、人件費を抑えて事業を実施する方法を検討すべきである。また、アンケート等の手法を通じて、市民の視点からの満足度について調査し、結果を事業に活かして欲しい。施策No.6と施策No.7で施策を構成する事業の調整を図って欲しい。
	A	
	(前回評価結果)	
	B	

施策評価調書(2)

評価対象年度	23年度事業
--------	--------

施策コード	231	施策名称	2章3節 社会教育施設の整備・充実
-------	-----	------	-------------------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	23年度	24年度	費用対効果 /対前年度 比	24年度の取 り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費		
2310022	施設予約システム事業	生涯学習課	2,205	2,289	前年度より改善	現状維持で実施
			5,160	4,980		
2310032	公民館社会教育関係団体体育成事業	生涯学習課	89	330	前年度より悪化	現状維持で実施
			0	0		
2310042	公民館施設運営事業	生涯学習課	158,852	177,192	前年度より改善	効率化して実施
			6,020	6,020		
2310052	婦人会館施設運営事業	生涯学習課	491	560	前年度より改善	現状維持で実施
			11,160	10,800		
2310062	青少年会館施設運営事業	生涯学習課	348	433	前年度より改善	現状維持で実施
			11,160	10,800		
2310072	文化会館施設運営事業	生涯学習課	736	801	前年度より改善	現状維持で実施
			15,480	15,480		
2310082	中央ふれあい館施設運営事業	生涯学習課	1,403	1,507	前年度と同程度	現状維持で実施
			14,100	14,100		
2310113	市街地施設付住宅耐震補強事業 (公民館等)	生涯学習課	21,192	73,799	設定無し	拡充して実施
			860	830		
2310126	公民館地区文化祭実行委員会交付金	生涯学習課	2,900	3,300	前年度と同程度	現状維持で実施
			0	0		
2310136	中央ふれあい館文化祭実行委員会交付金	生涯学習課	100	100	前年度より改善	現状維持で実施
			0	0		
2310146	婦人会館文化祭実行委員会交付金	生涯学習課	100	100	前年度より改善	現状維持で実施
			0	0		
2310152	図書館施設運営事業(図書館業務補助委託)	中央図書館	185,067	186,856	前年度と同程度	現状維持で実施
			0	0		
2310162	移動図書館運営事業	中央図書館	2,190	2,061	前年度より悪化	現状維持で実施
			8,120	7,910		
2310172	文庫運営事業	中央図書館	1,756	3,064	前年度より改善	縮小して実施
			14,190	9,890		
2310182	幼児・児童対象事業	中央図書館	576	630	前年度より改善	現状維持で実施
			5,590	5,395		
2310192	ボランティア養成講座事業	中央図書館	175	500	前年度より改善	現状維持で実施
			2,150	3,320		
2310202	対面朗読事業	中央図書館	436	532	前年度より悪化	現状維持で実施
			3,440	3,320		
2310212	保護者対象事業	中央図書館	2	0	前年度より改善	現状維持で実施
			860	830		
2310223	アスベスト対策事業(横曽根図書館) *	中央図書館	0	0	設定無し	休止
			0	0		
2310232	科学展示施設運営事業	科学館	39,557	39,755	前年度より改善	現状維持で実施
			11,428	12,045		
2310242	サイエンスショー開催事業	科学館	464	909	前年度より改善	現状維持で実施
			4,472	3,901		
2310252	科学体験教室開催事業	科学館	247	311	前年度より改善	現状維持で実施
			3,612	3,071		
2310262	サイエンスセミナー開催事業	科学館	267	288	前年度より悪化	現状維持で実施
			4,128	4,150		
2310272	天文台施設運営事業	科学館	728	1,312	前年度より改善	現状維持で実施
			6,994	8,616		
2310282	プラネタリウム施設運営事業	科学館	20,710	20,958	前年度より改善	現状維持で実施
			9,449	13,489		

注)事業名の末尾に* マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策No.7

施策評価調書(1)

評価対象年度 23年度事業

施策コード	232	施策名称	2章3節 生涯学習事業の充実		
主担当	生涯学習部	生涯学習課	電話番号	2461	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

市民一人ひとりが主体的に学ぶ「ふれあって 学ぶ生涯 人づくり」を本市のキャッチフレーズとし、自発的、主体的にいつでも学べる多種多様な講座、さらに専門性の高い分野や現代的課題等の学習機会の提供に努め、市民一人ひとりが正しい知識と技術を身につけることを目的としている。

指標①	名称	川口市民大学講座数				単位	回	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	(教育委員会主催講座＋社会教育施設主催講座)×4 教育委員会主催講座(7講座)および社会教育施設主催講座(24講座)を実施。1講座4回以上開催。							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	75.0	124.0	152.0	152.0	152.0			
	実績値・達成状況	136.0	達成	144.0	達成				
指標②	名称	川口市民大学事業参加率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	定員に対する応募者数							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値・達成状況	124.3	達成	120.3	達成				
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算見込額	24年度予算額	25年度計画額
	事業費	2,037	2,329	2,666	2,666
	概算人件費	6,960	6,880	6,640	6,640
	総事業費	8,997	9,209	9,306	9,306
事業費及び概算人件費の変動要因	川口市民大学事業の講師報酬金のあり方を見直したため、事業費が増加した。				

取り組みの内容	取り組みの成果
平成19年度から川口市民大学を開校し、現代的課題等の講座や放送大学、埼玉学園大学、科学館と共催し多種多様な幅広い講座を展開している。	市内外の高等教育機関と連携し共催することにより、質の高い講座が開催でき、受講者の増加に繋がっている。
残されている課題	
「自発的、自主的にいつでも誰もが」という生涯学習の基本理念を基に、個人の学習成果を地域社会に活かせる環境づくりや、支援体制を充実させることが今後の課題となっている。	

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	A	今後は、現代的課題を踏まえたうえで、社会人の若い世代にも目を向けた事業展開を検討する。
	(前回評価結果)	
A		

外部評価	評価結果	コメント
	A	
	(前回評価結果)	
	A	

施策No.8

施策評価調書(1)

評価対象年度 23年度事業

施策コード	233	施策名称	2章3節 生涯学習活動の支援		
主担当	生涯学習部	生涯学習課	電話番号	2461	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

川口市に在住、在勤している市民が公民館等の各種講座で身につけた知識や技術を他の人々の学習に生かし、お互いの生きがいづくりに繋げていくことを目的としている。

指標①	名称	人材バンク魅学依頼件数				単位	件	指標の種類	成果
	指標の説明・算定式	年度ごとの依頼件数 過去3年間の依頼件数の平均値							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	29.0	30.0	33.0	33.0	33.0			
	実績値・達成状況	33.0	達成	32.0	達成				

指標②	名称	人材バンク魅学の講師による講座参加者数				単位	人	指標の種類	成果
	指標の説明・算定式	年度ごとの講座参加者数 過去3年間の講座参加者数の平均値							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	1000.0	1700.0	1630.0	1630.0	1630.0			
	実績値・達成状況	1249.0	達成	1285.0	未達成				

指標③	名称	人材バンク魅学登録者数				単位	人	指標の種類	成果
	指標の説明・算定式	年度ごとの登録者数 過去3年間の登録者数の平均値							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0			
	実績値・達成状況	189.0	未達成	202.0	達成				

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算見込額	24年度予算額	25年度計画額
	事業費	48	47	48	48
	概算人件費	4,350	2,580	2,490	2,490
	総事業費	4,398	2,627	2,538	2,538

事業費及び概算人件費の変動要因 事務量の割合を見直したため。

取り組みの内容	取り組みの成果
生涯学習時代において市民が公民館等の各種講座で身につけた知識や技術を人材バンクに登録し、市内の個人、団体、サークル等の学習活動の求めに応じてその知識や技術を提供する。	公民館等の各種講座で身につけた知識や技術を他の人々の学習に生かし、お互いの生きがいづくりに繋げる活動を通し生涯学習社会を更に更新することに寄与した。

残されている課題

年々予算が減少していく中で、各館でも報償金のかからない事業等を企画するが、人数が集まらず実施できない等の問題がある。そのため、報償金を支出しない講師等を活用し、いかに市民にとって内容が充実した講座ができるかが課題となる。課題を明確に捉え登録制度の見直しに向け、充実を図っていくことが求められている。

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	A	人材バンク魅学は、ボランティアであることの原則を踏まえ、登録制度等の見直しを図りながら、今後も生涯学習社会構築を見据えた取組を充実させる。
	(前回評価結果)	
A		

外部評価	評価結果	コメント
	B	施策の成果や目的は施策を構成する事業によるので、施策とそれを構成する事業をもう一度検討して欲しい。また、「人材バンク事業」は実施する価値の高い事業であるが、うまく機能していないように感じられるので、運営の方法を見直して欲しい。いつでもどこでも誰でも学習の機会を自由に選択して学ぶことができるような事業を検討して欲しい。
	(前回評価結果)	
	B	

施策No.9

施策評価調書(1)

評価対象年度 23年度事業

施策コード	241	施策名称	2章4節 スポーツ・レクリエーション活動の支援		
主担当	生涯学習部	スポーツ課	電話番号	2476	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

高齢化の進展に伴い、市民の健康志向が益々高まりを見せている中、より多くの人々がスポーツ・レクリエーション活動事業に参加する機会を増やすため、各種スポーツ団体の活動を支援するもの。また、社会体育普及のためのスポーツ・レクリエーション指導者の育成・充実にを図ることを目的とするもの。

指標①	名称	スポーツ・レクリエーション活動事業参加者数				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	各事業(なわとび大会など)の参加者数の合計 平成18年度実績値によるもの(ただし、種目により増加が見込めるものは前年度の1割)							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	41700.0	54944.0	55358.0	55772.0	56600.0			
	実績値・達成状況	59163.0	達成	55034.0	達成				
指標②	名称	スポーツ・レクリエーション活動事業参加率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	各事業(なわとび大会など)の参加者数の合計/当初見込参加者数×100 最大参加率							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	74.0	97.0	98.0	99.0	100.0			
	実績値・達成状況	105.0	達成	104.0	達成				
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算見込額	24年度予算額	25年度計画額
	事業費	921,625	850,017	908,955	908,955
	概算人件費	163,993	166,654	161,587	161,587
	総事業費	1,085,618	1,016,671	1,070,542	1,070,542
事業費及び概算人件費の変動要因	事業費においては、予算編成時にその情勢を鑑み増減するもの。				

取り組みの内容	取り組みの成果
川口市内を活動拠点とする市民団体、(公財)川口市体育協会に加盟している団体、レクリエーションの普及啓発事業、競技選手の育成事業に関する事業を支援することにより、団体の活性化を図り、競技スポーツあるいは市民スポーツの推進に寄与するもの。	スポーツ・レクリエーションの各事業に多くの方が参加できるよう各種の広報を展開するなどの周知を行ない、年々参加者数が増加していることからスポーツの推進に寄与したものである。
残されている課題	
日常生活の中でスポーツを楽しむことが容易になってきたようだが、少子高齢化という社会変化に対応できるスポーツ活動の環境を整える必要がある。	

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	A (前回評価結果)	更なる各種の広報活動を行い多くの方にスポーツ・レクリエーションの素晴らしさを知っていただけるよう検証・研究し、継続して競技スポーツ及び生涯スポーツの普及或いは市民スポーツの推進に努めていくものである。
	A	

外部評価	評価結果	川口市はスポーツセンター等の屋内施設は豊富であるが、屋外で競技を行えるようなグラウンドが少ないので、整備して欲しい。「スポーツ・レクリエーション活動の支援」には「英才教育」「生涯スポーツ」「指導者の養成」の3本柱が重要であるので、小中学校との連携または学校教育と社会教育の連携を図り、スポーツ活動を推進して欲しい。
	A (前回評価結果)	
	A	

施策評価調書(2)

評価対象年度 23年度事業

施策コード	241	施策名称	2章4節 スポーツ・レクリエーション活動の支援
-------	-----	------	-------------------------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	23年度	24年度	費用対効果 /対前年度 比	24年度の取 り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費		
2410012	流水プール場・アイススケート場運営事業	グリーンセンター	65,894	65,000	前年度と同程度	現状維持で実施
			8,800	8,800		
2410022	中学校・高等学校運動指導者派遣事業	スポーツ課	2,374	2,174	前年度と同程度	現状維持で実施
			860	830		
2410032	各種体育大会開催事業	スポーツ課	461	443	前年度と同程度	効率化して実施
			172	166		
2410042	川口市体育三賞事業	スポーツ課	283	378	前年度と同程度	現状維持で実施
			2,322	2,241		
2410052	市民選手権大会事業	スポーツ課	3,207	5,971	前年度と同程度	拡充して実施
			8,600	8,300		
2410062	川口マラソン大会事業	スポーツ課	9,415	13,777	前年度と同程度	現状維持で実施
			8,600	8,300		
2410072	都市交歓スポーツ大会事業	スポーツ課	3,242	6,007	前年度と同程度	拡充して実施
			860	830		
2410082	競技力向上事業	スポーツ課	19,582	19,582	前年度と同程度	現状維持で実施
			860	830		
2410092	市民体育祭事業	スポーツ課	1,041	1,189	前年度と同程度	現状維持で実施
			3,440	3,320		
2410102	スポーツセンタースポーツ教室開催事業	スポーツ課	1,266	1,525	前年度より改善	現状維持で実施
			21,500	20,750		
2410112	スポーツセンター施設貸出事業	スポーツ課	702,655	746,703	前年度と同程度	現状維持で実施
			90,000	87,300		
2410122	体育指導委員事業	スポーツ課	11,898	14,051	前年度より悪化	現状維持で実施
			5,160	4,980		
2410136	学校体育奨励交付金	スポーツ課	1,900	2,158	設定無し	現状維持で実施
			860	830		
2410146	体育協会事業交付金	スポーツ課	5,415	5,415	設定無し	現状維持で実施
			3,440	3,320		
2410156	レクリエーション協会事業交付金	スポーツ課	2,700	2,800	設定無し	現状維持で実施
			860	830		
2410166	スポーツ少年団事業交付金	スポーツ課	1,000	1,249	設定無し	現状維持で実施
			860	830		
2410176	社会体育奨励交付金	スポーツ課	11,935	13,168	設定無し	現状維持で実施
			2,580	2,490		
2410186	県代表選手派遣交付金	スポーツ課	3,099	3,400	前年度より悪化	現状維持で実施
			2,580	2,490		
2410196	スポーツレクリエーション傷害見舞金	スポーツ課	30	645	前年度より悪化	現状維持で実施
			2,580	2,490		
2410206	ソーデーマーチ実行委員会交付金	スポーツ課	1,500	2,000	設定無し	現状維持で実施
			860	830		
2410216	体育指導委員協議会事業交付金	スポーツ課	1,120	1,320	前年度より改善	現状維持で実施
			860	830		

施策No.10

施策評価調書(1)

評価対象年度 23年度事業

施策コード	242	施策名称	2章4節 スポーツ施設の整備・充実		
主担当	生涯学習部	スポーツ課	電話番号	2476	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

本市は、伝統的にスポーツが盛んで多くのスポーツ団体が設立され、さらに市民のスポーツ・レクリエーションに対するニーズや健康に対する意識も高まっており、そのニーズのひとつである施設整備の充実を図るとともに、市民スポーツの活性化を促進し、健康増進やスポーツ人口の拡大を図るもの。

指標①	名称	スポーツ施設の利用稼働率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	利用単位数/利用可能単位数×100 直近の過去3年間における平均利用稼働率							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	61.1	63.3	66.0	67.0	68.0			
	実績値・達成状況	65.1	達成	65.0	達成				
指標②	名称	耐震診断施設数				単位	施設	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	耐震診断実施済み施設数(新耐震基準適合施設含む)/耐震診断対象施設(13施設)							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	6.0	7.0	7.0	9.0	13.0			
	実績値・達成状況	6.0	達成	7.0	達成				
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「-」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算見込額	24年度予算額	25年度計画額
	事業費	302,000	302,000	302,000	302,000
	概算人件費	6,960	6,880	6,640	6,640
	総事業費	308,960	308,880	308,640	308,640
事業費及び概算人件費の変動要因					

取り組みの内容	取り組みの成果
引き続き指定管理者制度を導入している戸塚スポーツセンター及び青木町公園総合運動場・体育武道センターにおいては、民間ノウハウの活用で施設の有意義な管理運営に努めるもの。また、施設整備においては、安全・安心な施設の管理運営に必要な修繕及び工事を行うものである。	指定管理者制度導入から3年目を迎えた青木町公園総合運動場・体育武道センターにおいては、市の指定管理者制度評価委員会で「概ね良好である」との評価であり、成果があったものである。なお、安全・安心な施設の管理運営に努め施設の不備等による事故等は無かった。
残されている課題	
老朽化した施設の整備及び改修工事においては、限られた財源で全てを実施することは困難であり、枠外経費としての重要事業の要望を行なっているものの難しい状況であるため、予算の範囲で安全・安心な管理運営を行なうしかない状況である。	

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	A	安全・安心な施設の管理運営を継続的に行ない、多くの利用者がスポーツ・レクリエーションを楽しめるよう環境づくりを継続するものである。
	(前回評価結果)	
A		

外部評価	評価結果	指定管理者制度を導入することによってコストが削減できている点、また指定管理施設の中間評価の結果が「概ね良好」であった点については評価できる。しかし、施策を構成する事業と施策評価調書の記載内容がマッチングしていないので、調書の内容をもう少し精査してほしい。また、ライフスタイルの変化から多様なスポーツを楽しむ傾向が強まっているので、市民スポーツを一層推進して欲しい。
	A	
	(前回評価結果)	
	A	

施策No.11

施策評価調書(1)

評価対象年度 23年度事業

施策コード	251	施策名称	2章5節 文化芸術活動の支援		
主担当	生涯学習部	文化推進室	電話番号	2111	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

市民に優れた文化芸術に触れる機会や創作体験の場を提供するとともに、文化芸術を担う人材の発掘・育成や文化ネットワークの構築を図ることにより、市民の誰もが「ゆとりと潤い」を実感できる心豊かな市民生活の創出を目指す。

指標①	名称	文化芸術活動を担う人材の登録者数				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	文化団体のほか、市内を拠点として文化芸術活動を行っている人材の登録者数 毎年度30人程度の増加を見込む。							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	680.0	710.0	740.0	770.0	800.0			
	実績値・達成状況	690.0	達成	759.0	達成				
指標②	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算見込額	24年度予算額	25年度計画額
	事業費	20,463	20,049	21,172	21,172
	概算人件費	34,800	32,680	31,540	31,540
	総事業費	55,263	52,729	52,712	52,712
事業費及び概算人件費の変動要因	市民コンサート事業において、市民会館が休館のため、アートギャラリーを利用した。また、歴史的建造物活用事業においては、一定期間開催の事業としたことで、事業費としては前年度並みとなった。				

取り組みの内容	取り組みの成果
広く市民からの推薦に基づく文化三賞の顕彰や、市民団体による文化活動に対する助成制度、文化団体への補助事業などにより文化芸術活動を担う人材の育成を促進した。また美術展、青少年ピアノコンクール、文化祭などの芸術鑑賞や創作体験の機会を提供した。	市内の文化芸術活動を担う人材の発掘や育成を促進し、文化芸術ネットワークの構築を図った。また、市民に対し各種文化芸術事業の鑑賞や創作体験の機会を提供したことで、文化芸術に対する理解が深まった。
残されている課題	
市内の各種文化団体の会員の高齢化が徐々に進んでおり、今後、文化芸術活動などによる地域の活性化や各種文化芸術の継承の問題等に影響が生じる可能性がある。	

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	B (前回評価結果)	各種文化事業や文化芸術団体の支援を継続して実施し、今後も市民の文化芸術活動への参加意欲を高め、若い世代の人材発掘、育成を推進していく。
	A	

外部評価	評価結果	演者の視点と鑑賞者の視点から内部評価を判定したのであれば、指標の設定についても、鑑賞者の視点からの指標を設けるべきである。また、イベントの参加者に対して今後も積極的にアンケート等を行い、市民目線でのイベントを企画して欲しい。
	B (前回評価結果)	

施策No.12

施策評価調書(1)

評価対象年度 23年度事業

施策コード	252	施策名称	2章5節 文化施設の整備・充実		
主担当	生涯学習部	文化推進室	電話番号	2111	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)
本市の文化芸術の発信基地であるアートギャラリーをハード・ソフトの両面から整備・充実し、市民の文化芸術の鑑賞や創作体験の場を提供すると共に市民の幅広い文化芸術活動の活性化を図る。

指標①	名称	アートギャラリーの利用率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	アートギャラリー(展示室A・B、スタジオ)の利用率 アートギャラリーの利用率を毎年1.0%引き上げる。							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	77.0	78.0	79.0	80.0	81.0			
	実績値・達成状況	90.1	達成	92.3	達成				
指標②	名称					単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況			—					
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算見込額	24年度予算額	25年度計画額
	事業費	491,080	21,127	24,038	24,038
	概算人件費	31,755	19,350	18,675	18,675
	総事業費	522,835	40,477	42,713	42,713
事業費及び概算人件費の変動要因	アートギャラリー企画展において、委託料が増加したため。				

取り組みの内容	取り組みの成果
魅力ある文化芸術の鑑賞事業や創作体験の場を提供するため、企画展やワークショップの実施のほか、地域コミュニティーを促進、「ものづくりの街・川口」を発信するための「川口の匠展」などの事業を行った。	目標値を達成しており、多くの方々に利用されている。
残されている課題	
今後も、創意工夫のもと多様性のある内容を維持し、事業のさらなる充実に努める必要がある。また、現在は幼児・児童及び高齢者のニーズが高いが、今後はその中間層のそれを高める工夫が必要とされる。	

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	B	今後も、アートギャラリーの事業の周知、来場促進のための広報活動に努めるなど、工夫して取り組んでいく。
	(前回評価結果)	
B		

外部評価	評価結果	アートギャラリーの利用率が伸びており、様々な企画を工夫している点は評価できるが、利用者層が幼児・児童及び高齢者に限られているようなので、それ以外の中間層を取り込めるような企画を工夫、検討して欲しい。
	B	
	(前回評価結果)	

施策No.13

施策評価調書(1)

評価対象年度 23年度事業

施策コード	261	施策名称	2章6節 文化財の保護と活用		
主担当	生涯学習部	文化財課	電話番号	222-1061	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

貴重な文化財や伝統文化、さらには文化的・歴史的資料の保存・活用に努めるとともに、市民に情報を提供することにより、地域に根ざした市民文化を振興し、市民が郷土の歴史と文化に対して誇りと愛着をもてる地域社会の実現を目指す。

指標①	名称	文化財調査報告会開催事業				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	報告会の参加者人数 募集人数							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	120.0	60.0	60.0	60.0	60.0			
	実績値・達成状況	54.0	未達成	72.0	達成				
指標②	名称	赤山城跡保存整備事業				単位	m ²	指標の種別	活動
	指標の説明・算定式	赤山城跡保存整備事業用地の購入面積							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	857.3	638.1	1037.3	1190.3				
	実績値・達成状況	857.3	達成	638.1	達成				
指標③	名称	指定文化財補助金				単位	件	指標の種別	活動
	指標の説明・算定式	指定文化財の維持管理に係る補助金の交付件数							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	52.0	52.0	81.0	81.0	81.0			
	実績値・達成状況	52.0	達成	52.0	達成				

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算見込額	24年度予算額	25年度計画額
	事業費	49,378	37,137	43,207	55,556
	概算人件費	3,306	3,268	3,154	3,154
	総事業費	52,684	40,405	46,361	58,710
事業費及び概算人件費の変動要因	赤山城跡の保存整備事業用地の購入面積が縮小したため。				

取り組みの内容	取り組みの成果
文化財に関する調査や事業の情報を市民に提供するための報告会や遺跡発掘現場での現地説明会等を実施し、また、文化財活用事業として、社会科学見学、歴史教室等の支援事業を実施した。一方、補助金や交付金を通して、指定文化財の維持管理を行った。	報告会等を通して、文化財の保護や活用に関する様々な調査や事業に関する情報を市民にいち早く提供することができ、小学校・中学校の授業の支援を行うことで、文化財愛護の精神を養うことができた。また、補助金・交付金を通して、指定文化財の保護ができた。
残されている課題	
赤山城跡保存整備事業における事業用地の取得に努め、更なる事業の推進が必要である。また、インターネット等の媒体を通して指定文化財や見学ルートを紹介することにより、市民が文化財をより身近に感じられる存在とし、アイデンティティーの育成に努める必要がある。	

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	A	文化財など地域の歴史遺産や伝統文化の保存と継承には、中・長期的な観点から取り組みを計画的に実施することが必要である。そのため、赤山城跡保存整備事業を進めるうえでの予算確保を行う必要がある。また近年、文化財保護行政は関連部局との連携が要求されるようになってきたことから、これに対応できる専門職員の育成も図る必要がある。
	(前回評価結果) A	

外部評価	評価結果	コメント
	A	
	(前回評価結果) A	

文化財の新規の指定は、毎年目標を定めて評価する性質のものではないが、文化財が適正に指定されているのか否かは重要な点であるので、外部評価の対象として欲しい。また、施策を構成する事業が3つでは少なすぎるので、掲載事業を見直すとともに、市民活動団体、ボランティアなどを活用して欲しい。

施策No.14

施策評価調書(1)

評価対象年度 23年度事業

施策コード	262	施策名称	2章6節 歴史的文書の保存と活用		
主担当	生涯学習部	文化財課	電話番号	252-3587	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)
古文書等の史料を調査・収集・保管・管理を行うとともに、解読を行い、市民の利活用に供することを目的とする。

指標①	名称	古文書史料データベース化				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	データ化数/所蔵古文書等×100 現在の所蔵古文書等を全てデータ化							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	100.0	100.0						
	実績値・達成状況	100.0	達成	100.0	達成				
指標②	名称	写真資料データベース化				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	データ化数/所蔵写真数×100 現在の所蔵写真を全てデータ化							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	100.0	100.0						
	実績値・達成状況	100.0	達成	100.0	達成				
指標③	名称	川口市産業年表稿の作成				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	出版物/明治初年から平成23年度末までの本市の産業に関する年表の作成割合×100							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	50.0	95.0	100.0					
	実績値・達成状況	47.0	未達成	95.0	達成				

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算見込額	24年度予算額	25年度計画額
	事業費	50	50	50	50
	概算人件費	0	0	0	0
	総事業費	50	50	50	50
事業費及び概算人件費の変動要因	変動なし				

取り組みの内容	取り組みの成果
かつて、市史編さん事業において収集(寄贈・寄託等)した古文書のデータベース化やマイクロフィルム化を推進を図る。また、郷土史会への補助金を交付し、文化財愛護の精神を養う。	データベース化することで、収蔵資料の検索が容易にできるようになった。

残されている課題
古文書史料を解読し、活字化(出版)を推進することにより、市民の利活用に供することを目的とすることから、個人情報や不適切用語の処理等が検討課題である。また、古文書解読者の確保も課題である。また、古文書を管理する設備が不十分である。

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	A	年表稿の作成業務が概ね完了することから、今後は古文書等収集史料の保管・管理に万全を期するとともに、収集古文書の市民の利活用に向け、解読並びに活用を推進する。
	(前回評価結果)	
A		

外部評価	評価結果	指標と事業が噛み合っていない。指標を数値で表すのが困難であるなら、文章で表す等の工夫をして欲しい。また、施策に対して事務事業が不足しているので、掲載事業について検討して欲しい。歴史的文書の学習成果を社会貢献活動に活かせるよう市民を育成することも行政の役割として図って欲しい。
	A	
	(前回評価結果)	
	B	

